

シートベルトの着用状況調査結果

警察庁と社団法人日本自動車連盟(JAF)は、10月1日から10日までの間に調査したシートベルト着用状況の結果を発表しました。全国におけるシートベルトの着用率は、一般道路の運転席が98.4%(前年98.2%)、高速道路の運転席が99.4%(前年99.5%)、助手席も共に90%を超える高い着用率でした。一方、後部座席のシートベルト着用率は、一般道路が35.1%、高速道路が71.3%で、特に一般道路の後部座席の着用率が低い結果となりました。滋賀県の結果は下表の通りです。

一般道路	区分		運転席		助手席		後部座席	
	平成27年	滋賀県	97.8%	全国 39 位	94.4%	全国 25 位	43.5%	全国 7 位
		全国平均	98.4%		94.6%		35.1%	
平成26年	滋賀県	97.9%	全国 29 位	93.9%	全国 26 位	43.5%	全国 6 位	
		全国平均	98.2%		93.9%		35.1%	
平成 27 年全国 1 位			99.7%	鳥根県	98.2%	山口県	51.1%	鳥取県

高速道路	区分		運転席		助手席		後部座席	
	平成27年	滋賀県	99.3%	全国 31 位	99.5%	全国 6 位	80.4%	全国 11 位
		全国平均	99.4%		98.0%		71.3%	
平成26年	滋賀県	99.6%	全国 22 位	99.3%	全国 12 位	74.0%	全国 20 位	
		全国平均	99.5%		98.1%		70.3%	
平成 27 年全国 1 位		100%	青森県、宮城県 山口県、福岡県 長崎県、大分県 宮城県、鹿児島県	100%	宮城県、山形県 高知県	94.0%	青森県	

滋賀県の一般道路でのシートベルト着用率は、運転席・助手席とも全国平均を下回っています。後部座席は全国平均を上回っていますが、50%に満たないほど低い着用率です。高速道路においては、運転席・助手席は99%以上の着用率ですが、後部座席は80%程度の着用率となります。



11月末の交通事故死者は64人ですが、そのうち自動車乗用中(特殊車両を除く)の死者は24人で、うち10人(41.7%)がシートベルト非着用でした。また、非着用の10人のうち9人(90%)は、シートベルトを着用していれば助かった可能性があります。シートベルトを着用することにより、交通事故に遭ったときに命が助かる可能性がとて高くなります。車に乗るときは必ずシートベルトをして下さい。